

2012年1月26日

- 記者からの質問
 - 当社からの回答
 - 3Qまでの実績をみると、期初計画2400億円の達成には、4Qの売上高が約1000億円必要となる計算ですが、社会インフラ事業の伸張が見込めない中、企業ネットワーク事業／キャリアネットワーク事業でカバーする事は可能なのでしょうか。
 - 現状では、売上高2400億円の達成については、200億円程度のリスクが高まっていると考えています。
 - ただし、好調な企業ネットワークやキャリアネットワークを伸ばすことに加え、社会インフラについても、ようやく受注残が増えてきております。また、多くの案件の引合いを頂いておりますので、これらの受注を前倒し、作業を進捗させる事により、少しでも4Qの売上に寄与出来るよう努力しています。
 - これらにより、最後まで2400億円の目標に向け、売上を積み上げる努力をしていきます。
 - 営業利益110億円について、売上高と同様に3Qまでの実績から考えると、計画達成には4Qの営業利益が約70億円必要となりますが、どのような施策を考えているのでしょうか。
 - 3Q累計では前年と比べ19億円程度の未達ですが、これは売上の減少に伴うもので、売上総利益率は前年と同レベルを維持しています。また、今3Q累計の営業利益には今年度取組んでいる成長投資10億円も含んでおります。
 - 4Qは前年よりも売上が増加する見込みですので、これに伴い利益増が図れます。更に原価低減、経費削減を加速させる事によって、キャッチアップできると考えております。
 - キャリアネットワーク事業が2桁伸張と好調ですが、具体的にはどのような事業なのか。
 - 現在、通信事業者は、スマートフォン普及等による通信量の増加に対応して、ネットワークの強化に取り組んでいます。当社はこのような動きに対して、サーバの負荷分散、ネットワークの強化や通信量監視の為にシステム構築、保守等のビジネスを行っています。
 - キャリアの設備投資は来期も継続すると考えていますか。
 - スマートフォンが急増してきたとはいえまだまだ普及率は低いですし、これからも増加し、それに伴いキャリアの設備投資も継続されると見えています。

- データセンターを拡充した成果が出ていますが、データセンターは自社所有なのですか。
→ 建物は借りていますが、データセンター内の機器等は自社所有です。
- 消防システムとは具体的にどのような事業でしょうか。
→ 消防署の指令台や無線通信システムの構築や、その保守サービスを行っています。
市町村合併やアナログからデジタル化への対応に伴うシステム更改が、立ち上がって来ております。

以上